

Weekly コラム

平成 26 年 7 月 22 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

社長さんのコミュニケーション術

現代では、携帯電話、スマートフォンは公私を問わず、なくてはならない必需品だという方も多いことでしょう。

携帯電話は「いつでも、どこでも持ち歩ける自分専用の電話」だけに、固定電話とは異なる気配りやマナーが求められます。今回は携帯電話でのコミュニケーションのポイントについてご紹介します。

■携帯電話にかけるときのポイント

携帯電話は固定電話に比べ相手の状況が分かりにくいので、話すときは、まず「今、お話ししてよろしいですか。」と尋ねます。このほかにも、配慮したいポイントがいくつかあります。

○時間を選ぶ

休日や早朝、夜間の電話は、よほどの急用以外は避けます。携帯電話だからいいということはありません。

○手短にすませる

用件は手短かに話し、長引くようなら都合を尋ねます。

○状況に応じてメールを併用

携帯電話に限りませんが、忙しく、なかなか電話に出いていただけない方には、先にメールで「何時頃に電話する。」と連絡しておく方法もあります。また、電話で日時の約束をしたときなどは、あとでメールでも念押ししておくともメモ代わりになり互いに忘れません。

■困ったときに使えるセリフ

自分が電話を受けたとき、話し続けづらい状況にある場合には、次のような言い方で対応すると失礼がなくスマートです。

○駅のホームなどで話づらい場合「お声が聞き取りにくいので、一度切ってからかけ直させていただいてよろしいですか。」と伝えましょう

最近の携帯電話は音を拾いやすいので、騒音が相手にも伝わる場合があります。こんなときは静かな場所に移動して、自分からかけ直します。

○会議中に電話がかかってきた場合

重要な電話などの場合は、「ちょっと失礼します」と一言断り退室してから、電話に出るようにしましょう。

■大声で仕事の話をしたくない

飛行機、電車など公共の乗物、映画館や美術館、病院といった場所では、電源を切ったりマナーモードにする習慣がすっかり浸透してきました。

一方では、道を歩きながら、あるいは駅のホームなどで大声で話す人を見かけることがあります。

街中や駅には誰がいるかも分かりません。もし大声で仕事の話をしたら、大事な情報が漏れる危険もあります。会話が聞き取りにくくて大声になるなら、静かで人の少ない場所へすみやかに移動しましょう。

■携帯の番号は個人情報

取引先の会社に電話をして、「急いで連絡を取りたいから、担当者の携帯の番号を教えてください。」というと、たいていの場合、「こちらから連絡して、本人から折り返し連絡させます。」といわれます。このような対応が今日の一般的なマナーです。決して「急いでいるのだから、教えてくれてもいいだろう。」「仕事だから教えてくれないか。」としつこく尋ねてはいけません。先方からの折り返しの連絡を待ちましょう。

携帯の番号は個人情報ですから、自身の携帯に入っている電話番号の取扱いにも注意したいものです。例えば、交流会などで「××さんの携帯の番号を知っていれば、教えてください。」のように尋ねられたとしても、すぐに教えるのではなく、本人に「連絡を取りたいという人がいるが、携帯の番号を教えてください。」と確認してから、教えるようにしましょう。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ご不要の際は、配信を中止させていただきます。また、次回からメールでの配信も承っております。その旨、お申し出下されば幸いです。